

2026年3月11日

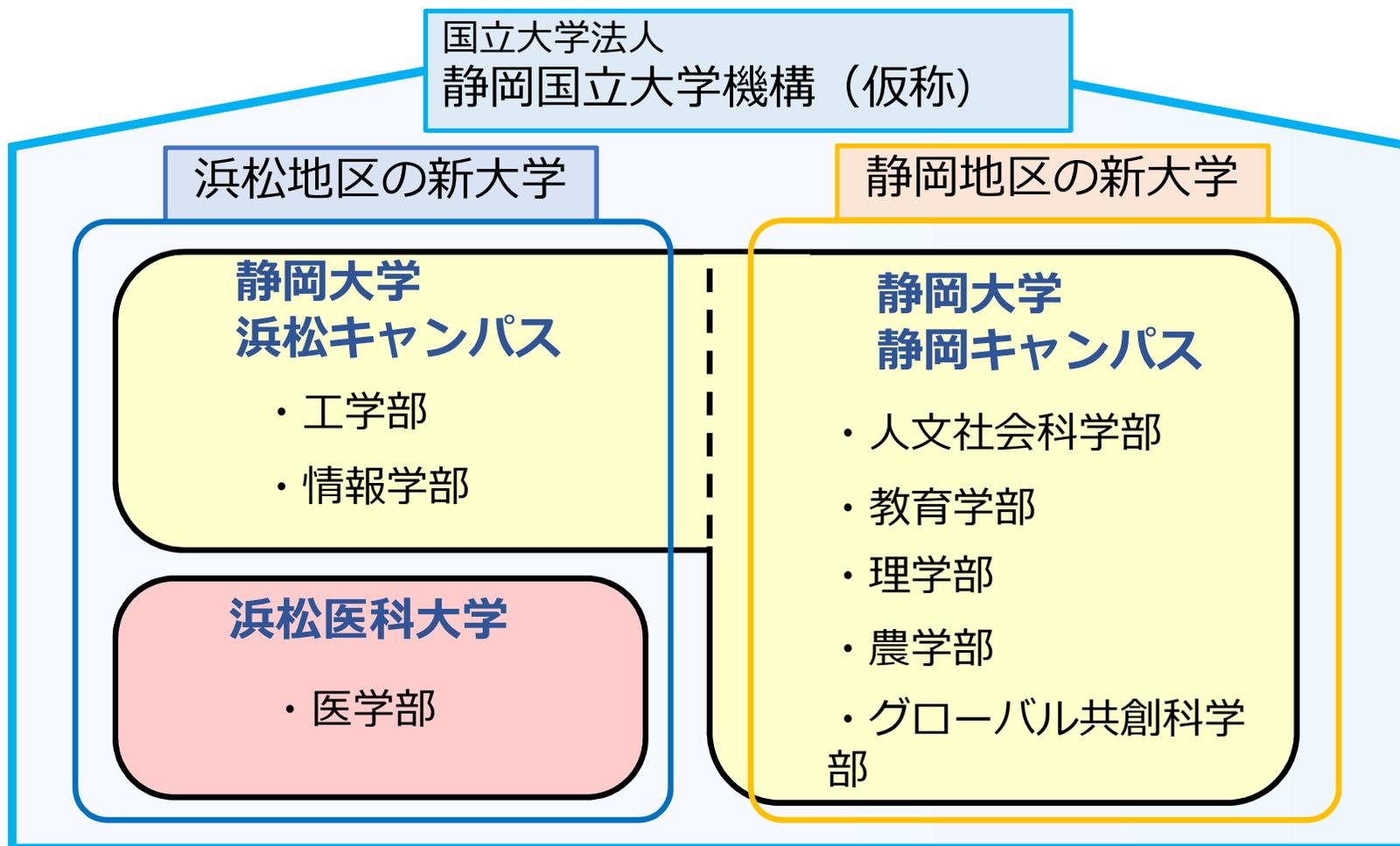
資料5

「静岡大学・浜松医科大学
統合・再編促進期成同盟会」
意見交換会

国立大学法人静岡大学・国立大学法人浜松医科大学

新法人設立・大学再編構想

静岡大学・浜松医科大学 法人統合・大学再編構想



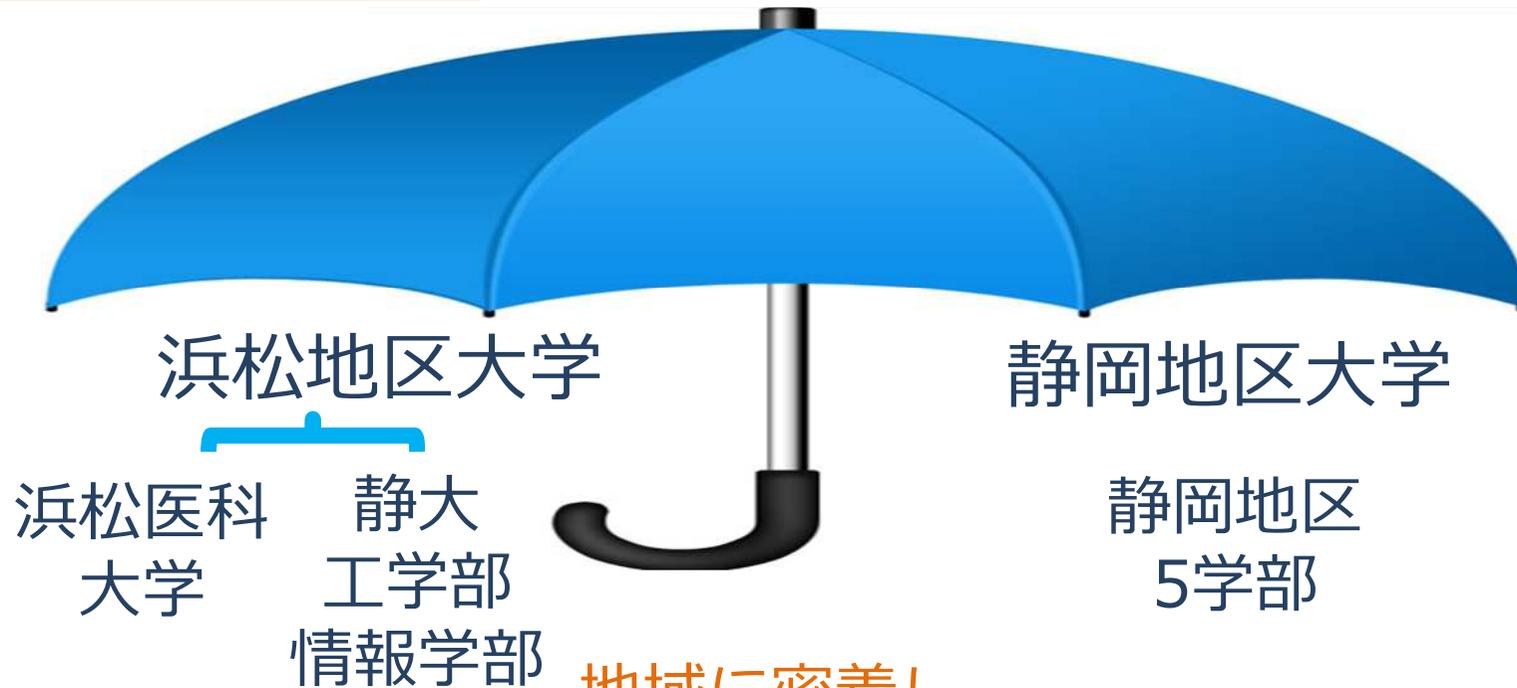
法人統合 浜松医科大学法人を廃し、静岡大学法人を静岡国立大学機構 (仮称) とすることにより法人を統合する

大学再編 現在の静岡大学と浜松医科大学をそれぞれの地区の新大学に再編し、一つの法人の傘の下で運営する

法人統合・大学再編が目指すこと

未来志向の教育・研究基盤

国立大学法人



地域に密着し
機動的で緊密な体制の構築



イノベーションを創出し地域貢献
するためのプラットフォームを形成

法人統合・大学再編の意義

静岡大学と浜松医科大学をひとつの法人に統合し、地域ごとの新大学に再編

**静岡県内で唯一の国立大学法人として、
両大学が地域の地元自治体や企業ときめ細かな連携を実現**

静岡市と浜松市は地理的に離れているため、地域単位の大学として再編することで迅速な意思決定が可能となる。再編された両大学がひとつの法人の下に置かれ、県域全体の課題解決や新産業創出に資する。

国立大学法人静岡国立大学機構（仮称）

浜松地区の新大学



3分野の連携強化、それらに精通した人材の育成・研究機会の提供、AI・ビッグデータを用いた教育・研究・医療の提供、新たな機器開発

地域産業界への貢献

静岡地区の新大学



県内他大学との連携を含め文理融合の推進や、他大学に率先したSDGs達成への総合的な取組

持続可能な社会システムの構築

浜松地域に医科工科系 新大学の設置

医学・工学・情報学が融合した先鋭的な医科工科系大学として高いブランド力の獲得を目指す



静岡地域に文理融合 新大学の設置

「自由」「多様性」「持続可能性」を理念とし、総合知を持った地域の期待に応える人材の育成を目指す

地域特性等を考慮した大学再編

先進的な技術やアイデアが大学の研究室で生まれ、それらは地域の企業やスタートアップによって商業化され、地域に産業集積地を形成している

静岡地区と浜松地区は地域性にそれぞれ特長があるため、地域単位の大学として再編することで、地域特性を考慮した機能強化を図る。

🔬 **ボストン・ケンブリッジ周辺の
医薬品・医療機器産業集積地**

**○マサチューセッツ工科大学
(MIT) & マサチューセッツ
総合病院 (MGH) 等**

Moderna/Biogen/Boston Scientificなどの先進的な医薬品・医療機器開発関連企業の創業や技術開発に関わるとともに、世界中から集まった優秀な学生や研究者が、地域の教育、研究、産業における質の高い人材プールとなっている。

研究開発現場と臨床現場、関連企業の産業集積地が構築されることにより、高度な技術や製品開発による新産業が創出され、地域経済が活性化されている。

**浜松地区大学の
目指す姿**

浜松地区を象徴する「やらまいか」精神を活かして挑戦に対する柔軟性や創造性を発揮し、医工連携を通じて新規産業の創出を目指す。

臨床現場と研究開発現場のスピーディでシームレスな連携により、新しい技術の創出や医療機器開発を達成する。

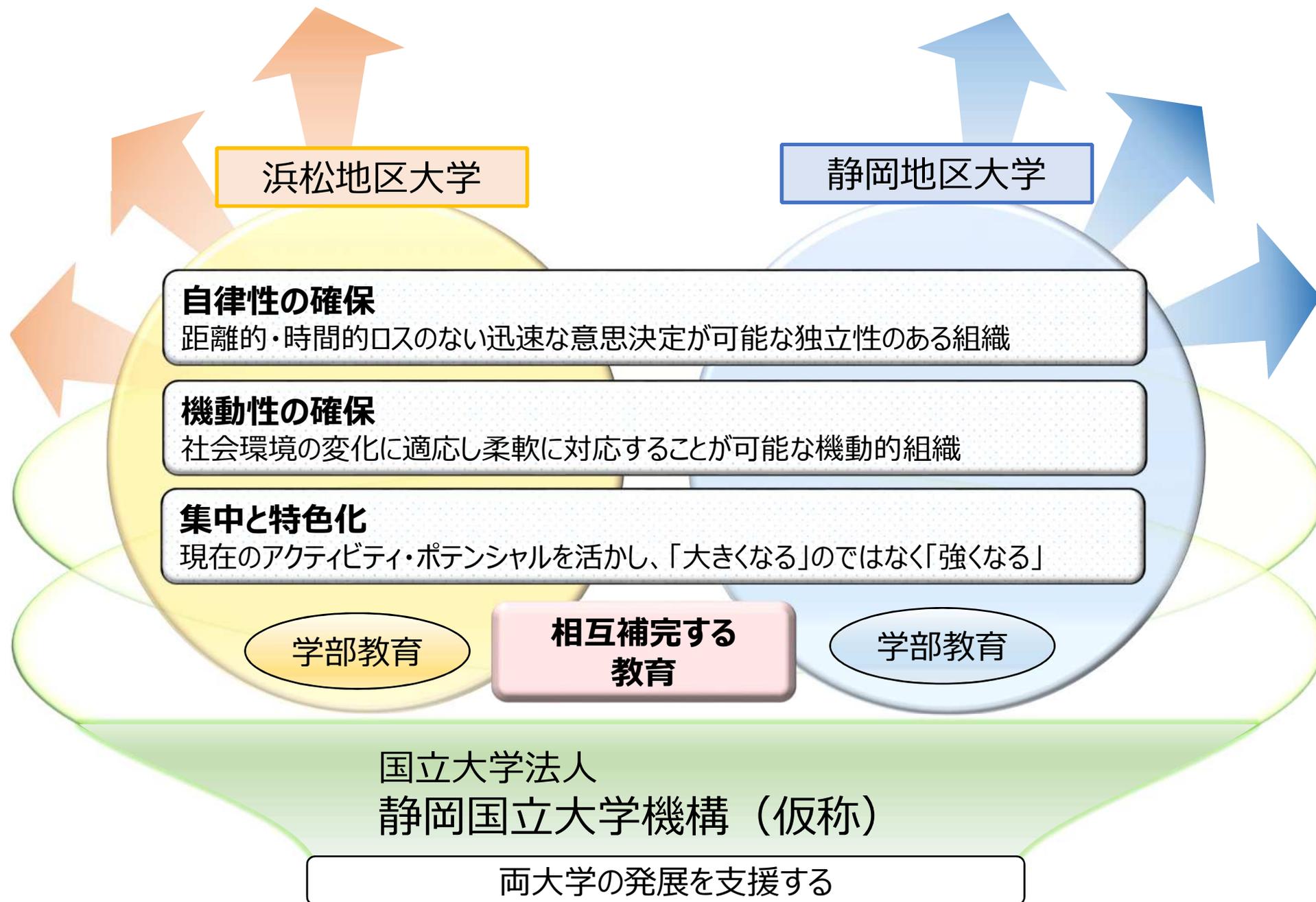
県庁所在地の様々な業種が集積しビジネス機会を創出しやすいという産業基盤を活かし、研究開発から社会実装まで一貫した産学連携体制を整備する。

静岡地区の持つ研究開発のリソースを、地元産業の振興、環境保全、教育の充実、技術の導入等で地域に還元することで、地域の安定性と持続可能性の確保に寄与する。



イノベーション/新産業の創出には
「大学」が「地域」に結びついた活動が必須

再編二大学の自律性・機動性を活かした運営



二大学間関係の成果の波及

「進化した地域貢献」と「新たな分野での世界への挑戦」の両立のために

浜松地区大学

静岡地区大学

分野横断的な関係関係

複合的な領域で
イノベーションを創出

国立大学法人
静岡国立大学機構（仮称）

経営資源の集約化と効率的運用による資源の再配分
地域ごとの大学の自律的運営を支援
一法人二大学総力の分野横断的な取組・異分野間の関係強化

知と人材の集積拠点機能強化のために両大学の発展を支援し、
二大学の関係の成果を法人として静岡県全域、日本、世界へ波及させる

浜松地区大学について

浜松地区大学の医・工・情連携

「ものづくりのまち 浜松」の地域性を活かした教育・研究力向上への取組

- 2025 静大情報・工学部・電研と協定締結
- 2022 次世代創造医工情報教育センター創設
- 2019 医工連携拠点棟完成
- 2018 光医工学共同大学院開講
- 2016 地域イノバ・エコシステム形成プログラム
- 2013 COI-S拠点 国際科学イノベーション拠点整備事業
- 2012 地域イノベーション戦略支援プログラム
- 2011 JST地域産学官共同研究拠点整備事業 (はままつ医工連携拠点)
- 2007 第2期知的クラスター創成事業
- 2002 第1期知的クラスター創成事業

浜松医科大学×静岡大学
研究と地域連携事業

デザイン思考、クリティカル思考の涵養を目的とした学部学生・大学院生へのアントレプレナーシップ教育
社会人へのリカレント教育

医学・看護学と、工学や情報学など異分野横断的共同研究や医療情報解析

地域の中核大学としての教育研究機能の強化

Well-beingに資する医療機器やアプリケーション等の研究・開発促進

学生・大学発ベンチャー・病院発ベンチャーの創出

オープンイノベーション促進と地域の課題解決への更なる貢献

若手の柔軟なキャリアパス形成や起業

医療機器・システム開発やウェルネスの実現

DXによるレジリエントな地域医療体制の樹立や起業支援等による社会課題への挑戦

ソーシャルウェルネスの実現

イノベーションの創出

スーパーシティの実現

地元の他大学や自治体・スタートアップ企業などと連携し地域とともに新しい価値を創造

浜松地区大学将来構想

Innovative Society & Better Life Acceleration

より良い未来、豊かで幸福な人生を支える社会の創生
成果を地域に還元するとともに世界へ発信

ソーシャルウェルネスの実現

個々の身体的、精神的、
そして社会的に健康・健全で
安心な社会の創生

イノベーションの創出

独創性に富んだ科学技術を
創出することによる、
幸福な社会の創生

スーパーシティの実現

革新技術・AI・ビッグデータ・
ネットワークを活用し、
住民の参画した社会の創生

オープンイノベーションプラットフォーム

国内外の人材の受入
共同研究等の促進

地域連携・国際連携
による知の拠点の形成

未来ビジョンの
バックカastingによる
戦略的な教育・研究施策の展開

国・
自治体

医・看

異分野融合
教育・研究

工

産業・
金融界

高度で安全な
最先端医療の提供

情

地球環境に調和する
革新技術の創出

医学・工学・情報学が連携した
Society 5.0時代の先鋭的な大学

医学部

工学部・情報学部

地域医療への更なる貢献

静岡県全域の次世代に繋がる医療を共創



県東部地域医療への貢献

医療DXを発展させ県東部地域との医療連携体制を構築



発達障害児教育の革新

教育学部-情報学部-医学部

一例

浜松医科大学
子どものこころの発達研究センター

子どもたちの幸福のために
研究を社会へつなげていく

ひとりひとり異なる子どもたちのこころ向き合います。
困難な時代においても、子どもたちを幸せにします。
日々科学に読み、新たな支援方法を開発し、社会へと展開していきます。

発達障害児への
医学的アプローチ



発達の程度に応じた
教育計画の開発

学校現場での調査を
通じて得られた研究成果

学習を支援する機器や
コミュニケーションツールの開発

個別サービスのマネジメントや
社会支援の状況調査

心理的なストレスや
社会的孤立についての研究や介入

発達障害児や家族が
抱える社会問題の調査



情報社会学科
Socio-Information Studies

発達障害児の
社会的調査

「情報社会学科」では、情報技術や情報システムの可能性や危険性などを検討したうえで、現在の情報社会を
もう一度見直し、情報通信技術の発展に対応した新しい「情報社会を「デザイン」できる人材を育成します。

情報社会学科の教育
が目指す人間像

- 多様な専門家との協働し、
よりよい情報社会をデザイン・
実現できる人材を育成する
- 従来の人文社会系の専門
知識以外の、新しい知識、
実践的なスキルなども学ぶ



Shizuoka University

静岡大学 教育学部

受給生・保護者の暮らし | 在校生の暮らし | 教職教員・教育関係者の暮らし | 地域・一般の暮らし

先生になることがゴールじゃない。

成長し続ける教員の育成。これが「静大品質」です。

発達障害児への
教育方法の研究・実践

医学部-教育学部-情報学部で連携し、
発達障害児に対する

- 高度専門家の育成
- 教育プログラムの作成

・学習支援機器/コミュニケーションツール開発
を実施し、静岡県において全国で類をみない先進的な
発達障害児教育を実現する

科学技術振興機構（JST）未来社会創造事業（探索加速型）令和7年度本格研究課題に採択（採択数5件）

令和8年度科学研究費補助金学術変革領域研究（A）「計画研究総括班、計画研究」に採択（採択数15件（採択率10.0%））

将来の変化を見据えて

法人統合・大学再編が目指すこと

2003～2004年 地域の総合大学と医科単科大学の合併

スケールメリットを確保し限られた資源を活用した戦略的な経営

福井大学+福井医科大学 ⇒ 福井大学
島根大学+島根医科大学 ⇒ 島根大学
香川大学+香川医科大学 ⇒ 香川大学
他5大学

AI・デジタル技術の進化
急速な社会環境に適応した組織体制

地域社会の危機
少子高齢化や大都市圏への人口流出
地域社会の衰退

20年
に
わた
る
社
会
構
造
の
変
化

多様性と複雑性
異なる価値観や文化の交錯・共存

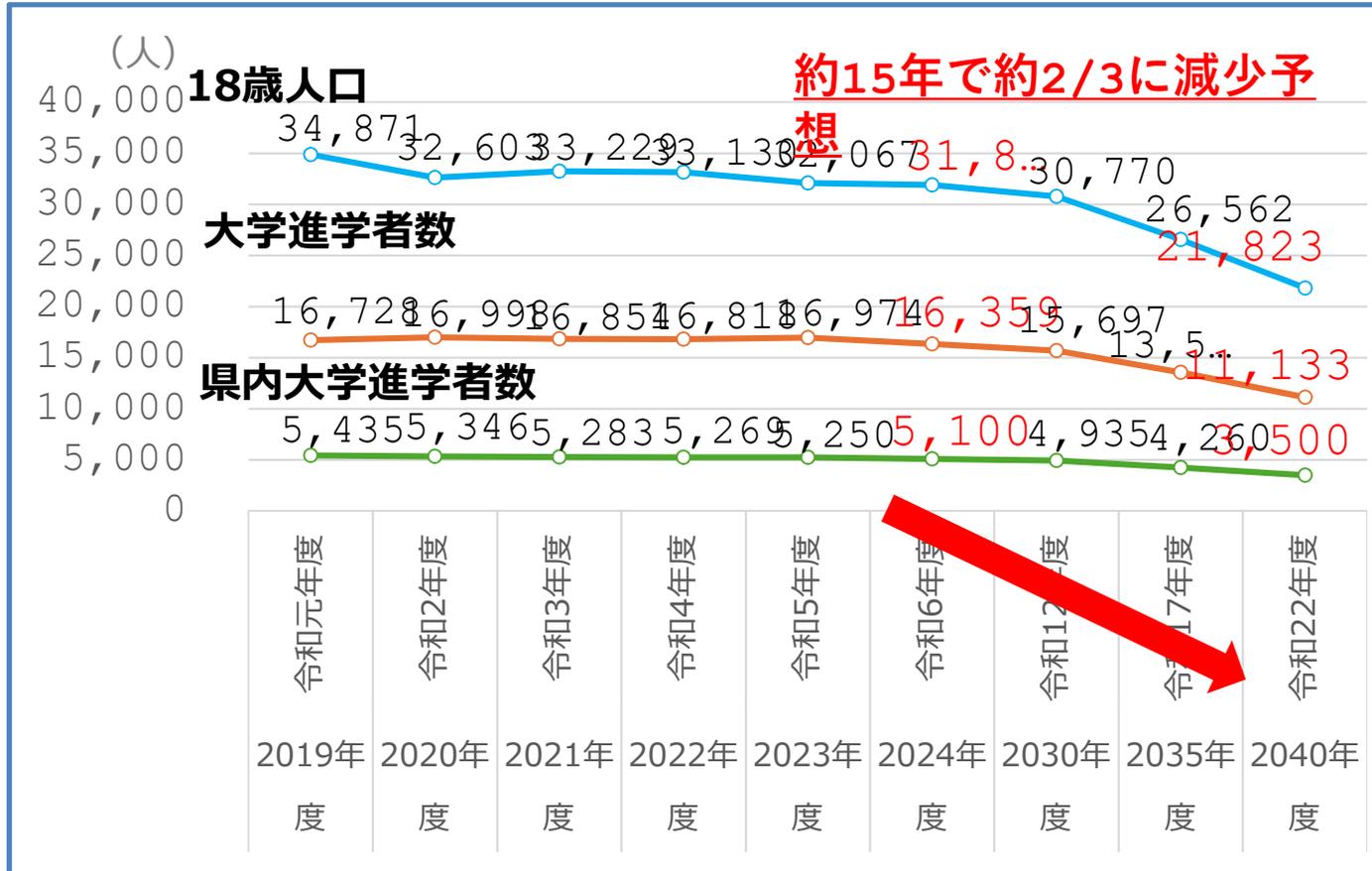
大規模災害への警戒
南海トラフ巨大地震対策の必要性

気候変動と環境問題
持続可能性への関心の高まり
再生可能エネルギーへの転換や廃棄物削減

**これからの20年にわたり、国立大学が
国際的競争力を高め、地域課題の解決に資するために**

- ・スケールメリットとともに（1法人）
様々な課題解決に素早いアプローチを可能とする迅速な意思決定（2大学）
- ・高校生が進学したいと思うような特色ある大学の構築（尖端性）
- ・地域の課題解決に最適化したキャンパス配置（大学再編）

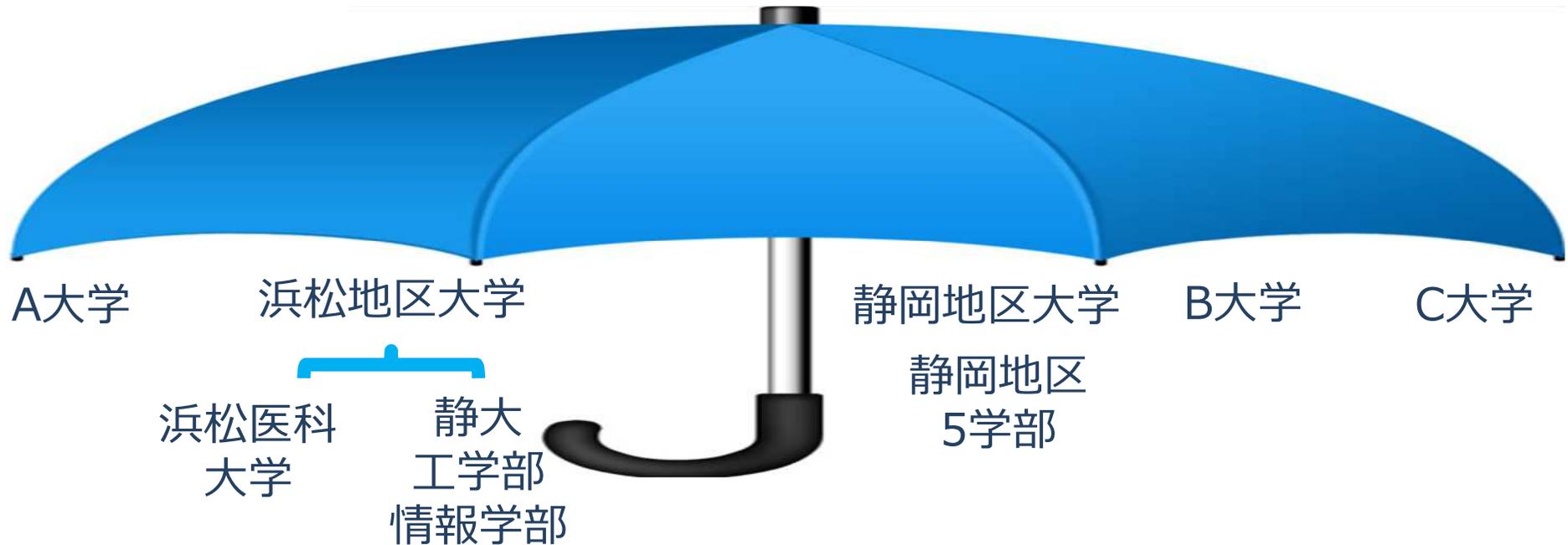
静岡県18歳人口、大学進学者数の推移



※1 高等学校等卒業者の卒業後の状況調査（静岡県）及び静岡県年齢別人口推計を元に推計
 ※2 将来の大学進学率は、令和元～6年度までの平均で計算

法人統合・大学再編が目指すこと

地域に貢献する新たな大学プラットフォーム



社会変化に対応する
機動的で柔軟な体制の構築



それぞれの強みを活かし
若者に魅力的な教育環境の確保